

「我々は津浪直後に、惨害記録と哀話のみ綴っているべきではない」
——『津浪と村』

福島県立博物館 テーマ展

山口弥一郎

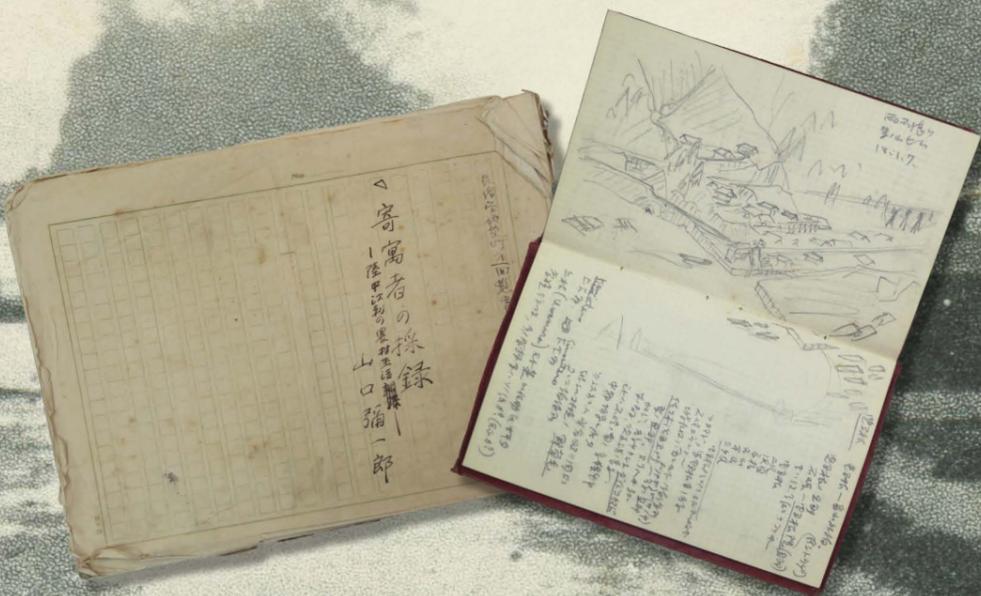
のみた東北

会津の農家に長男として生まれた山口弥一郎。
その人生は、つねに東北とともにあった。
教師として、研究者として生涯にわたり東北を歩き続けた
山口は、自然の猛威に苦しみ、時代の変化に翻弄される
東北の人々のありのままの姿を丹念に記録し続けた。
地域の暮らしに寄り添い、共に悩み考えることで
「生きた学問」を志したその営みは、現代を生きる
私たちに多くのことを教えてくれる。
没後に残された膨大な調査研究資料をひもときながら、
山口弥一郎の人と学問に迫る。

令和2年

2月8日(土) ▶ 3月29日(日)

主催 福島県立博物館 / 後援 磐梯町



休館日 毎週月曜日および2月25日(火) ※2月24日(月)は開館

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

観覧料 常設展料金 280円 20名様以上の団体 220円
小・中学生、高校生無料

関連行事 ①展示解説会 2月9日(日)・2月23日(日・祝)・3月15日(日)
13:30~14:00 担当:内山大介(当館学芸員)

②トークイベント「山口弥一郎先生を語ろう」3月29日(日)
13:30~15:00 担当:当館学芸員ほか
場所:福島県立博物館視聴覚室・展示室

「私が生きのびてこれたのは、学問のおかげだと思っんです」
——『地理学を学ぶ』

